

ですが、日ごとに成長していく様子を見られるのが喜びです。マラソン大会などは、保護者の方に、「本番で力を発揮するように」というより、練習を積み重ねていくことを大事にしてください」と伝えていきます。

「幼稚園への関わりを通して、ご自身に変化はありましたか？」

松崎太郎さん 私はそれほど育児に積極的なタイプではなかったんです。でも、ケーキ作りや本の読み聞かせなどを子どもと一緒に体験し、子どもと関わる時間を持つことの大切さを実感しました。参加した時の様子は妻にも報告。子どもの成長を共有できるのがうれしいですね。

榎本さん お弁当の日がありますよね。どうしたら食べてくれるのだろうと悩んでいた時、別の保護者から「キチャキチャ」の話を聞き、レシピをもらって挑戦してみました。普段は食べない素材もお弁当だと食べるなど、幼稚園のお弁当の日の予行演習にもなり、どのくらい食べることができているかの目安も分かりました。

「子どもさんに望むことは何ですか？」
松崎太郎さん 幼稚園で学んだ元気な挨拶はぜひ継続してほしいです。

榎本さん 子どもには、できないことがあっても、楽しむように言っています。

廣石さん 友だちを思いやる気持ちが生まれたことに感謝しています。指導のおかげです。これからも大切にしたい部分ですね。

「同世代の子どもを持つ保護者、YMCAに伝えたいことがあれば教えてください。」

松崎太郎さん 親も参加するプログラムが多いので、子どもと接する時間の

少ないお父さんにはおすすすめです。男性のリーダーが増えると、男親にとってもっと参加しやすい環境になるでしょうね。

榎本さん 夫が単身赴任中で、父親の代わりとまではいきませんが、子どもにとって男性リーダーの存在はとても大きかったです。

松崎香織さん 親同士で育児の相談ができたのがよかったです。アドバイスをもらって参考にしたこともあります。

榎本さん 悩み事を話すうち、「うちの子どもだけじゃないんだ」と分かるだけで、気持ちや和らぎました。

廣石さん 毎週、決まった曜日に通うことで、子どもにとってよい習慣づけにもなりました。卒園後も、親子で集まる機会があります。

松崎香織さん その日の出来事や子どもの様子を伝えてもらえるのがうれしいですね。

廣石さん リーダーは卒園後もちゃんと名前を呼んで、覚えていてくれます。だから、子どもたちもYMCAに行くのを楽しみにしています。

「YMCAは今後も、1対1の顔が見える関係でありたいと思います。今日はありがとうございました。」



来て、見て、やってみよう！

地球のためにできること

アースウィークくまもと2011

4月22日は、地球のことを考えて行動する日「アースデイ」。この日を中心に、世界各地で毎年、地球環境のためのイベントや取り組みが展開されています。熊本では、期間を拡大し「アースウィーク」として、様々な催しが行われ、熊本YMCAは事務局として、この活動を支えてきました。

22回目を迎えた今年も、22日(金)アースデイに実施された「ノーマイカーデーパレード」で開幕。実行委員長の坂本正さんは、開会挨拶で東日本大震災にふれながら、「自然エネルギーの推進についても考えながら、歩きましょう」と呼びかけ、熊本県副知事や熊本市長も参加する中、300名近い参加者が市役所まで2.5kmの道のりをパレードしました。

23日(土)、熊本交通センター・センターコートで開催されたオープン

グイイベントでは、YMCA水前寺幼稚園の園児が歌と演奏を披露。環境省主催の「江津湖くまもと湧水デジタル写真コンクール」の表彰式も行われ、これに応募し、見事入選を果たした熊本YMCA学院高等課程表現コミュニケーション学科の生徒2名が表彰を受けました。会場では、このほか電気自動車の試乗会やミニ電気新幹線「さくら」号の運行など多彩な催しがあり、多くの来場者でにぎわいました。

また、23日(土)・24日(日)にはサノロード新市街アーケードで、環境保全や地球温暖化防止を啓発する環境パネル展も開催。熊本YMCAでも、植林活動や地域清掃活動など賛同イベントを実施し、身近なところから環境保護について考える機会になりました。



江津湖くまもと湧水デジタル写真コンクール入賞作品



入選「美しい水と景色」
山岡 千恵さん



入選「初めて見る屋形船」
伊津野 友哉さん